

## 2022年度事業計画書

新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりから2年以上の歳月が流れたが、未だ収束の目途が立っていない。この間に人々の行動様式やニーズには変化が生じており、それに対応したサービスの在り方をあらゆる分野・業界が模索している状態である。地球デザインスクールが管理運営を行っている丹後海と星の見える丘公園においても、キャンプをはじめとする募集型の自主事業は実施が困難な状態が継続しており、学校等団体利用についても延期や内容等の変更、中止が相次いでいる。

このような現状を踏まえ、公園事業においては、団体から個人、こどもだけではなくワーケーションも含めた大人の利用を視野に新たな公園利用のスタイルを提案、運用していくこととする。これまでの小学校等を対象にした環境教育の場としての公園の在り方だけでは新たなニーズに対処しきれないことを念頭に、数年来公園外をフィールドにした自主事業の推進に注いでいた力をいったん公園業務に集中させることとする。

一方で、昨年度から理事・スタッフを中心に進めている NPO としてのビジョン会議を継続し、組織基盤を固めつつ、次なる一步を踏み出す準備の一年と位置づけて下記の事業を実施する。

### 《今年度の重点項目》

#### (1) 新しい宿泊スタイルの提供

公園の新たな宿泊スタイル「けとはれのあわい」を2022年4月よりスタートする。

食事メニューや空間づくりの他、体験プログラムなどを付随したサービスを充実させ、これまで積極的に取り込めていなかった個人。特に大人が満足できるすごし方を提供する。本年度はスタートの年であり、その足場固めと新たな顧客開拓を行う。

#### (2) 憩える場づくり

公園内の「こどもの森」「森のカフェ」を中心としたエリアの利用方法を検討し、憩いの場としての公園整備を行う。また、他エリアにおいても5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）を徹底し、来園者にとってすごしやすい空間づくりを行う。

#### (3) 組織基盤強化

昨年度から取り組んでいるビジョン会議を継続的に行い、中長期計画作成を行う。

長期的視野に立った組織制度改変や NPO 事業の新規開拓に向けた調査・検討を行い、組織の基盤強化へとつなげる。

《実施事業》

(1) 地球環境と調和する社会や技術を調査・研究する事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
公園フィールドづくり	海と星の見える丘公園内のフィールドに、計画的整備を行う。	通年		900
モニタリングサイト 1000 里地調査	丹後海と星の見える丘公園内をフィールドに、植物相などの項目を継続的観察、データ収集を行う。	通年	高校生～	36
プロジェクト 2041	京都教育大学や宮津天橋高等学校と連携し、知と体験を融合させる環境教育プログラムの開発を行う。	通年	高校生 大学生 教員など	20

(2) 創造的かつ体験的な活動を通じて、地球環境をデザインできる人を育む事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
けとはれのあわい	主に個人利用者をターゲットに、ゆったりとした空間でストレスなくすごしていただける宿泊サービス。飲食や体験を含め、公園での過ごし方の提案を行う。	随時		600
京都自然塾	脚本家・倉本聰氏主宰の富良野自然塾をモデルにした環境学習プログラム。雨天時対応や出前授業なども行う。	4月～11月 ビジットは冬も可	小学生以上	10
森の楽校	間伐やもやかき、下草刈りや笹刈りなど季節に応じた森づくり活動の一部を体験で行う。	3月～9月下草刈り 10月～12月間伐		10
森探検・ナイトウォーク	スタッフがガイドを行い散策する。実施の季節や対象によって時間や内容に変動がある。	4月～12月 3月	幼児～	10
海の楽校	磯観察や砂浜観察などを行う。オプションで顕微鏡を用いたプランクトン観察なども行う。	4月～12月 3月	小学生～	10
里の楽校	地元住民を講師に郷土料理作りや魚さばき、おくださん、国産小麦を使った体験を行う。	4月～12月 3月	小学生～	50
アースデイ丹後	丹後の食や体験を集めたイベントを通して、自然や地域に目を向けるきっかけづくりを行う。	4月24日	幅広い年代の市民	50

里山ラソン	公園の景観や散策道を生かしたマラソン大会。運動を通して自然を楽しみ、自然と健康を考えるきっかけづくりをする。	9月24日	小学生～	20
秋イベント	収穫祭あるいは、かかしコンテストなどのイベントを実施する。	1回	無料他	20
うみほしDAY	毎月第一日曜日を特別な日曜日として位置づけ、いつもとは一味違う体験や食を用意する。	4月～3月の第一日曜日（1、2月除く）	こどもや親子はじめ広く市民	5
丹後学	丹後の自然や歴史、産業などについての訪問授業を行う。	随時	小学生～	10
E-BIKE	園内を電動アシスト自転車で周遊できるプログラム。園外のコースも設定する。	随時	小学生～	10
インターン生、ボランティアの受け入れ、育成	作業手伝いではなく、参加者の学習機会となり、NPOとして将来につながる人材育成を意識し、受け入れる。	随時	高校生・大学生中心	100

(3) 地球環境と調和する社会をつくろうとする市民活動を支援しそのネットワークを広げていく活動

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
グリーンバレーズ構想	世屋から波見谷周辺をフィールドにした体験プログラム等を実施し、地域の宝の掘り起し、発信、継承につとめる。	通年	高校生～	0
地球デザインスクール会員間ネットワーク	会員向けのニュースレター作成やウェブ発信、メーリングリストなどを活用し、情報交換を活発にし、企画への参画、参加を促進する。	通年	NPO会員	100

(4) 上記事業を促進するための施設・空間を、市民参加型で創り、管理し運営する事業

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算(千円)
海と星の見える丘公園管理運営	丹後海と星の見える丘公園の指定管理者として、公園の管理運営業務にあたる。	通年	府民等	48,500

(5) その他

タイトル	内容	スケジュール	対象	予算 (千円)
MFA	救急医療の先進国アメリカで誕生した応急手当の訓練プログラムを、トレーニングセンターとして行う。	随時	高校生以上	75
NPO 事業の 新規開拓に向 けた調査・検 討	NPO 事業の新規開拓に向けた調査・ 検討を行う。	随時		270